

外国語活動・あいさつ運動を通しての小・中の連携の充実

ねがい

〈目的〉

学校、地域での活動の中で、コミュニケーション活動を通して積極的に努力し続けようとする意欲をもつ児童生徒を育てるために、外国語活動の充実と小・中の児童生徒によるあいさつ運動を推進することにしました。

つながり

〈内容〉

● 外国語活動における小・中の連携

本校区の生徒は、小学校から中学校に進学すると、英語の学習でつまづいてしまう生徒が少なくありません。それは、コミュニケーションが苦手なこと、また難しいと感じるとすぐあきらめるなど安易な方に流れる生徒が多いからです。

そこで、本年度から中学校英語担当と小学校担任が協力して小学校外国語活動の時間の充実を図ることにしました。毎週火曜日を外国語活動の日とし、中学校英語担当（ALTも随時に）が小学校に行き、小学校3年生以上の児童を中心に定期的に支援や指導を行っています。当然、事前に打ち合わせをする必要があり、前日の月曜日の放課後に、中学校英語担当と小学校担任が必ず打ち合わせ会を実施しています。



【英語担当、ALTによる外国語活動】

● 校区全体で取り組むあいさつ運動

例年、中学校生徒会が毎朝校門前であいさつ運動し、月1回中学校PTAと地域の青少年育成団体の方が参加してくれており、小学校でも別の日に児童会を中心にあいさつ運動を実施し、各学校が独自に実施していました。本年度から、校区全体であいさつ運動を盛り上げるとともに、小・中の児童生徒に「自分たちが役に立っている」「ともに支え合えた」という体験をさせ、自己効力感を高めることにしました。

小・中の児童生徒とPTA、地域の青少年育成団体や交通安全母の会などが協力し、校区全体で同一日（原則毎月20日）にあいさつ運動を実施しています。あいさつ運動用ののぼりも製作し、地域に発信しています。



【校区あいさつ運動の様子】

高まり

〈成果〉

中学校英語担当が小学校に行き、児童に対して支援や指導を行うことにより、苦手意識が強かった外国語活動に興味・関心をもつ児童が多くなってきています。校区全体のあいさつ運動も児童生徒と地域との結びつきのよい機会になり、積極的に取り組む姿勢が育ってきています。

今後も外国語活動での小・中連携と校区全体でのあいさつ運動をより効果的に実施していきたいと考えています。